



# OCHIHIOKAI 落穂会だより

社会福祉法人 落穂会

2019年  
**128号**  
令和元年10月1日  
発行



P2. Bakery 楓（ふう）/ Café NODOKA（のどか）  
「10周年を迎えて」

P3. Bakery 楓・Café NODOKA 10周年イベント  
あさひやワークショップ開催

P4. My Field (マイフィールド)

P5. さんぽみち

P6. SNAPスナップ

P7. TOPIX (トピックス)

P8. 秋まつり案内・ふれあいバザー  
ぎゅらりーアサヒヤより新作紹介  
Bakery 楓 新商品紹介



## 10周年を迎えて

Bakery楓 責任者 前田 直子

10年前、就労支援事業をより活かす場としてCafé NODOKA（のどか）／Bakery楓（ふう）が設立されました。今まで就労支援としてパンの製造などに取り組み、施設や病院の朝食やおやつ等として納めていましたが、施設利用者と地域社会をつなぐ場が少なく、もっと触れ合う機会を増やせればという思いが、事業を立ち上げるきっかけでした。その他にも憩いとふれあいの場を地域の方々に提供し、一般健常者の方に知的障害者が特別な存在ではないことを肌で感じてもらえると共に、利用者の方々の就労・社会的自立を目指していくように目標を立てスタートしました。

私が今でも鮮明に覚えているのが10年前のプレオープンです。初めて利用者の方達とCafé NODOKAで接客をしました。たくさんの方にご来店いただきましたが、あまり接客に慣れていない状況で、思っていた以上に大変でした。ひと段落してから腰をおろし一息ついてご飯を食べる時にコップ一杯のドリンクを飲み干しました。その横で一緒に接客をした利用者の方が涙を流しそうな表情でした。私自身も接客という事に慣れておらず、上手く利用者の支援にたどりつかずの一 日だった事を思い出します。それから接客業に携わっていたシェフに色々なアドバイスをもらいながら、利用者の方達に接客方法を伝えることもでき、今では元々人と話す事が苦手だった利用者が、「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」「また来て下さい」と声を出して接客できています。お客様の中には、「いつも接客してくれる○○さん」「いつも元気に挨拶してくれてうれしいね」「会いに来たよ」等と話してくださいり、一般の方に身近に感じてもらえる場所になれてとても嬉しく思っています。Bakery楓では数年前からパン体験を実施し、利用者の方がお客様に作り方を教えたり会話ができる場を作ることに取り組んでいます。年間を通して地域バザー等の販売に進んで出店し自分達が作っている物を販売することで、仕事への意欲も高まってきているように思います。Café NODOKAではシェフ自身が料理の経験を活かし、旭福祉センターで栽培した新鮮な野菜をふんだんに使用し、陶芸班で作られた陶器（皿等）でお料理を出すなど、鮮やかなお料理の出し方にも工夫して、今では常連の方々もたくさん来ていただいております。

今年、10周年を迎えることができましたが、これからも立ち上げた頃の気持ちを忘れずに利用者一人一人の障害の特性や希望を考慮しながら利用者の方達と一緒に楽しく頑張っていきたいです。

## Bakery楓・Café NODOKA

今年でBakery楓・Café NODOKAは10周年を迎えることができました。

そこで今回8月23日(金)～25日(日)の3日間、皆様方からの日頃のご愛顧に感謝し、10周年記念イベントを開催いたしました。

いつもお店に足を運んでくださっているお客様はもちろん、宣伝媒体を見て初めて来店して頂いた方からも「10周年おめでとうございます」と嬉しいお声をいただきました。

10年間の感謝の気持ちを多くのお客様に還元することができ、また多くの方にBakery楓・Café NODOKAを知って頂く機会になったと感じております。自分達が作っている商品をたくさんの方に届けることができ、利用者・スタッフはもちろん、お客様の笑顔をたくさん見ることができた3日間でした。

お忙しい中、足をお運びいただいた皆様、本当にありがとうございました。



## 10周年イベント



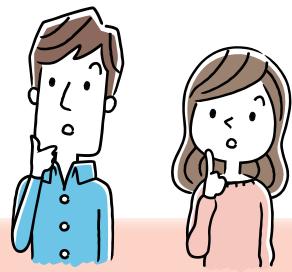
## あさひやワークショップ開催

7月21日(日)に、第9回あさひやワークショップが開催されました。今回は、陶芸、レザークラフト、アクセサリー作りを行い、12家族29名の方に参加していただきました。第8回から実施している、アクセサリー作りが今回は大盛況となりました。付き添いで来場されていた保護者の方が、子ども達が作る様子を見て、興味を持ち、一緒に製作に参加されていました。

保護者の方からは、口々に「これはハマりますね」との声が! 気付けば、お子さんよりも熱心にパーツを選び、アクセサリーを作っていました。お子さん、保護者の方共に楽しんで頂けたのではないかと思います。

陶芸やレザークラフトに参加された方々も、それぞれ真剣な眼差しで取り組んでいらっしゃいました。短い時間ではありましたが、満足のいく作品ができた方もいれば、完成した作品を見返し“もう少しこうしたかった”など、それぞれ充実した時間を過ごすことができていたように感じました。どの作品も、完全オリジナル作品です。世界に一つだけの作品をぜひ、愛用してみてくださいね。次回の開催も、みなさんが「これハマっちゃう」と思って頂けるような楽しいイベント開催となるよう努めていきたいと思います。今回、参加していただいたみなさん、ありがとうございました。次回もぜひぜひ、お待ちしております。





# マイ フィールド My Field



## 安 藤 忍

地域生活支援センターあさひが丘  
乗馬インストラクター兼支援員

- 平成30年1月入職  
放課後等デイサービスシュバル 支援員
- 東京出身  
OL、サービス業を経て趣味で始めた乗馬を職とする。

### Q1 乗馬インストラクターの仕事を始めた、いきさつを教えてください。

元々、東京生まれ、東京育ちです。20代前半に趣味で始めた乗馬を仕事にしたいと考えたのが30歳位のときです。

### Q2 鹿児島に移住したのはいつ?あさひが丘に入職したきっかけは?

平成28年に霧島市にある知人の乗馬クラブで働くことがきっかけで鹿児島に来ました。その後は、湧水町にある会社の寮に入っていましたが、1年半程で、その乗馬クラブを退職しました。就職活動をするとき、鹿児島は、馬に関わる仕事が少ないので「どうかな?」と思っていた矢先、あさひが丘の求人を見つけました。障害者乗馬に興味をもっていたこともあり、よかったです。

### Q3 今の部署でどんなことをしていますか?

放課後等デイサービス、生活介護、児童発達支援等を利用している子どもから成人の方を対象に乗馬インストラクターとして個別レッスン、乗馬活動を行っています。

### Q4 これまで障害者に向けて乗馬レッスンをしたことありますか?

以前、勤めていた乗馬クラブに障害をもつた方が数名いたのでレッスンをしたことはありますが、本格的に取り組むのは初めてです。

### Q5 どんなときにやりがいを感じますか?

乗馬活動の中で利用者が楽しそうにしていたり、できなかつたことができるようになったときにやりがいを感じます。

### Q6 逆に大変だったことは?

福祉の業界が初めてだったので大変というより、戸惑うことが多かったですね。今も戸惑っていますが、少しずつ慣れてきた感じです。求人を見たときに最初は、「放課後等デイサービスって何?」「具体的に何をするの?」と思いましたが、「障害者に向けた乗馬インストラクターの募集」という文字に惹かれました。

### Q7 この仕事は自分に向いてる?

(笑) どうなんでしょう。はっきり、そう言うのもおこがましいかな。

### Q8 この仕事が好きですか? はい!

### Q9 今、はまっているものとかありますか?

えー、はまっているものですか。(笑) 鹿児島は温泉が素晴らしいで日当山温泉によく行きます。そこで会う地元のおばあちゃんの言っていることばがわからない。(笑) 鹿児島弁って歌うように話すんだなあと思って聞いてます。職場でも子ども達とのやりとりで「なおして」と言われたことを修理だと思って「どこをなおすの?」と押し問答したことがあります。途中で「あ、片付けるってことか」と気づきました。

あと、猫を5匹飼ってます。東京から車で1日半かけて連れてきました。

### Q10 やりたいことや夢はありますか?

障害者乗馬インストラクターの資格をとりたいです!

### Q11 理事長と話をすることってありますか?

直接、話をする機会は少ないのですが、先日、面談があり、理事長が考えている障害者ホースセラピーについて聞くことができました。シュバルをどういう形で運営していくべきか等、話をする機会があってありがたかったです。

### Q12 センター長とは?

同じ地域センターで働いているので話す機会は多いです。馬たちを気遣ったり、おやつを食べさせてくれます。

### Q13 最後に乗馬レッスンについてお願いします。

楽しんでもらうことが1番です。楽しい事だと、いろいろ覚えたり、学ぼうとしてくれるので、子ども達や利用者には楽しみながら、少しずつ馬の事や乗馬のことを知ってほしいと思います。





## 「大切な人のために」

地域生活支援センター職員 積山 武司

私は、割と早起きです。朝食を準備し、洗濯が回せる時間になると色物とタオルを分けて洗濯します。色物とタオルを一緒に洗濯すると、タオルの毛が付くので分けて洗っています。私の中の洗濯マイルールがあり、始めに述べた、色物とタオルを分けて洗うことの他にもマイルールがあります。



- ・洗濯洗剤は先に洗濯槽に入れ、水が溢まるのを待ち、洗剤がほどよく混ざってから衣類を洗濯槽に入れます。
  - ・柔軟剤は少量、もしくは全然入れな



## 「僕のこれからのお目標」

旭福祉センター 川田原 優也

- 僕が旭福祉センターに入つてから二年とすこしが経ちました。入つて来た頃はなれないことばかりで日々なやむ毎日で、とくに早起きが今でもできていませんが、じょじょにですが出来るようになってきました。体調を崩すことがあるのでしっかりといすいみんをとり水分をこまめにとつて整えていきます。仕事については、野菜の収穫を主にする「蔬菜」という農業の



「感謝の日々」

地域生活支援センター保護者 吉野 智美

「さくらがきれい・・・」

自分の感情をあまり言葉にできない息子の言葉にびっくりして、運転中の私はルームミラーを見ました。そこには、車の窓越しに満開の桜を見上げる息子の姿がありました。

息子が養護学校高等部2年の春、我路でお花見をした帰りの事です。

「ああ、この子にもこの桜の美しさが分かっている。心が育っている。もうそれで十分だ。」 そう思ったのを忘れません。

息子の央人（ひろと）は生後間もなく脳梗塞を患い、産後間もない私は身体を休める暇もなく、母子、入院、通院

い。そのかわり、洗濯洗剤を2種類混ぜて使用する。

- ・1~2ヶ月に一度は、洗濯槽掃除をする。

なぜこのような細かなルールになつたかというと、娘が産まれたことが一番の要因です。もともと私は、香りにこだわり、柔軟剤をたくさん入れ、ワイドハイターを毎回入れて洗濯をしていました。しかし、柔軟剤やワイドハイターは赤ちゃんの衣類には成分が強かったです。娘の衣類は分けてベビー用洗濯洗剤を使っていましたにも関わらず、娘の肌が赤く荒れることが続きました。そこで、いろいろと調べてみた結果、ナチュラル系洗剤に出会い、前述のルールとなつたのです。少しお値段がしますが、使い始めて以降、娘

の肌が荒れることはなくなりました。  
市販の洗剤は使わなくなりました。

ここから仕事の話に繋げるのは少々無理があるかと思いますが、このことから気付いたことが一つありました。それは、誰かの為を思って行動することはそれなりの勉強が必要だということです。私たち支援者は、利用者と関わる上で学ぶことがあります。研修会に参加し、日々の支援で活かせることはないかと試行錯誤を繰り返しています。それは、利用者の為を思い行動するからだと私は思います。最後にこれからも利用者の良き隣人になれるように努力したいと思います。

作業と外部で仕事をする株式会社ナンニチ流通で作業をする「施設外就労」をしています。

蔬菜では収穫や休けい時間に一緒に仕事をしている友達と話をしたりして、毎日楽しく仕事をしています。しんこうきや草刈り機といった機械をうごかすことや、市内のスーパーにのうひんする野菜のふりわけを蔬菜班ではしっかりとやっていきたいです。

施設外就労については、月に4回行かせてもらっています。ダンボールばこに入っている計二十四このかんを六つずつのたばで袋にいれていき、こうごにかかる

さねていく作業をしています。かくにんをせずにミスすることがあるので、しっかりとかくにんをして、まかされたことをしていきたいと思います。

僕も成人して自分でできることをふやしていけるようにしたいと考えているので、これからも身体に気をつけながら仕事や早起きなどの生活面をしっかりとし、頑ばっていきたいと思います。



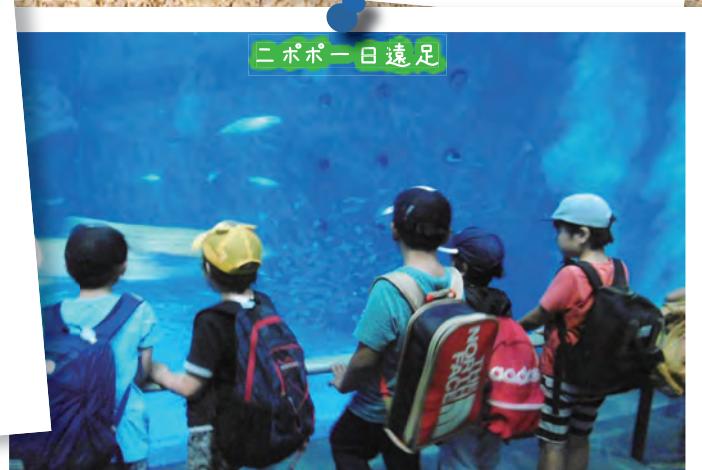
と慌ただしい日々を過ごしました。主治医からは「育ってみないと分かりません」と言われ、先の見えない暗闇の中での子育てでした。言葉も遅く、一時もじっとしていない息子。一日に3回、4回公園に連れ出しても納まらず、自分が違う世界で息子を育てているような孤独感を感じていました。

養護学校に入学し初めての夏休み、知人にあさひが丘学園を紹介してもらい、我路に繋がりました。それまで否定されることの多かった息子。多動で突拍子もない行動を起こす度に「すみません」と謝りながらの子育て。『我路』は、やっと巡り合った私達家族の居場所でした。我路での息子は伸び伸びと過ごし、迎えに行くといつも園庭や体育館

のトランボリンで遊んでいました。我路が現在の場所に移ってからも、迎えて下さる職員の方々の笑顔は変わらず、夏は汗びっしょりになりながら、冬は寒さにも臆せず屋外で活動して下さり、本当に頭の下がる想いでした。今でも、短期入所や日中一時支援を利用した際、職員の方々には温かく見守って頂き、あさひが丘学園にご縁があり、本当に良かったと感謝の日々です。

息子は今、「あすもね」でお世話になっています。屋内の作業では集中力が続かず苦戦しているようですが、これからも、家族皆で息子を支えていきたいと思います。今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。

# SNAP スナップ。



- **6月5日(水)、12日(水)、19日(水)、26日(水)、7月10日(水)、17日(水)** ペアレンツプログラム  
ガーデンキッズでは毎週水曜日に保護者向けにペアレンツプログラムを実施しました。

- **7月13日(土)**  
**児童発達支援、放課後等デイサービス合同保護者懇親会**  
31家族、34名の参加がありました。リフレッシュをかねて保護者、事業所間で情報の共有を行うことができました。

- **7月21日(日) 第9回 あさひやワークショップ**  
詳細はP2をご覧下さい。

- **7月27日(土)～28日(日) 九州地区利用者交流会**  
長崎で開催され、あさひが丘グループホームの利用者8名が参加しました。他施設の利用者と交流を楽しむことができました。

- **7月27日(土)～28日(日)**  
**旭福祉センター 入所利用者キャンプ**  
今年も毎年恒例の入所利用者キャンプが始良市のさえずりの森キャンプ場で開催されました。当日は天候にも恵まれ、バーベキューでお肉をたくさん食べ、キャンプ場の広場でグラススキーを心ゆくまで楽しみました。

- **8月2日(金)**  
**ゆうひが丘放課後等デイサービスニポポ**  
一日遠足に13名の子ども達が参加し、かごしま水族館へ行きました。

- **8月3日(土)**  
**旭福祉センター グループホーム利用者ビアガーデン**  
Café NODOKAでグループホーム利用者のビアガーデンが開催されました。生ビールサーバーが設置され、お酒好きの利用者は大喜びでした。料理も食べきれないほどの量だったと嬉しそうに話していました。

- **8月10日(土) 旭福祉センター 個別面談会・家族総会**  
個別面談会及び家族総会に今年も多くのご家族に参加していただきました。面談会ではご家族からの要望や、利用者の普段の家の様子などを伺う貴重な機会となりました。お忙しい中お集まりいただきありがとうございました。

- **8月13日(火)～14日(水)**  
**あさひが丘グループホーム外出**  
2グループにわかつて、計16名でそうめん流しに行きました。暑さを忘れるほどおいしかったです。

- **8月21日(水) 不審者対応訓練**  
あさひが丘学園では、今年も西警察署の方をお招きして指導を頂きました。訓練とはいえ、万が一を想定しながら緊張感の中で時間が過ぎました。訓練後は、振り返りの中でさすまたの使い方や対応時の注意点等を講義して頂きました。日々の中で防犯への高い意識を持つことも、とても大事だと感じます。

- **8月23日(金) 不審者対応訓練**  
地域生活支援センターで実施されました。西警察署2名の職員が来所され、対応策についてアドバイスをもらいました。

- **8月23日(金)～25日(日)**  
**Bakery楓・Café NODOKA 10周年イベント**  
詳細はP8をご覧ください。

- **8月24日(土)**  
**かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会**

雨が心配されましたが無事にサマーナイト大花火大会が開催され、あさひが丘グループホーム利用者24名、旭福祉センター利用者5名が綺麗な花火に言葉を失い、静かに見入っていました。

- **8月25日(日) 春山地区10班常会**

10班の常会をあさひが丘グループホーム四郎丸で実施しました。地域の方10名の参加がありました。

- **8月31日(土)、9月1日(日) ディズニーオンアイス**

2グループにわかつて、あさひが丘グループホーム27名が鑑賞し、圧巻の演技や歌、ダンスに見入っていました。

- **8月31日(土) 緑ヶ丘夏祭り**

旭福祉センターでは、利用者4名が緑ヶ丘夏祭りに出かけました。今回は緑ヶ丘のれんげ公園で開催され、今年もベーカリー楓が出店しました。

- **9月5日(木)～6日(金) 宿泊旅行：指宿**

あさひが丘学園では、利用者5名と職員2名で指宿旅行へ行って来ました。ラーメン王決定戦でおなじみのたけとらラーメンや釜蓋神社等、地元ならではの名所を楽しみました。2日目は、台風の影響を考え、安全を考慮した旅程に変更しましたが、充実した時間を過ごせました。

- **9月7日(土) バーベキュー**

就労継続支援B型ワークショップあすもねでバーベキューを行いました。みんなで協力して焼いたお肉の味は格別でした。

- **9月7日(土) 児童発達支援 歩路・希路・ガーデンキッズセルク・トリア合同療育発表会**

鹿児島市中央公民館で療育発表会が行われ、子ども達は、ボディイパーカッションやサークル、劇、ダンスを披露しました。笑顔いっぱいの子ども達の姿は、愛くるしさ満載でした。

- **9月12(木)～13日(金) 宿泊旅行：熊本**

あさひが丘学園では、職員2名、利用者3名で熊本へ行って来ました。新幹線での移動はとても早く、到着後は恐竜博物館やトンネル公園など、観光名所をめぐりました。熊本赤牛等、食事も美味しく、とても楽しい旅でした。

- **9月18日(水) 日中2科 池田湖バスツアー**

鹿児島観光バス協会の招待事業として、あさひが丘日中2科利用者・職員31名で池田湖へ行って来ました。きれいな景色や大きなうなぎに感動し、ソーメン流しを楽しみました。みんなでの外出は、とても良い思い出になりました。

- **9月24日(火) 総合防災訓練**

あさひが丘学園にて、伊敷分遣隊の隊員の方々にご協力いただき、訓練を実施しました。消火器を使っての消火訓練等、とても丁寧に指導して頂きました。日頃から万一を想定した意識はとても大切だと感じました。

- **9月28日(土) 日中活動参観**

あさひが丘学園と地域センター両事業所で日中活動参観を行いました。沢山の保護者に来ていただき、日頃の活動や仕事の様子を見ていただきました。活動後の懇談会でも各チームで様々な話を聞かせて頂きました。ありがとうございました。

# 秋まつり案内



## 第6回 あさひが丘 秋まつり ～みんなで創ろう地域の輪～

日時：令和元年11月10日(日) 10時から15時(予定)

○第1会場（あさひが丘学園園庭）

美味しい食事！豪華舞台出演者！！イベント盛りだくさんで皆様をお待ちしています。豪華景品が当たるお楽しみ抽選会もありますよ！

○第2会場（あさひが丘乗馬俱楽部シュバル・みかん園）

乗馬体験やみかん狩り。身近で体験してみませんか？

ぜひご来場  
ください!!

## ぎゃらりーASAHIYAより 新作紹介

ぎゃらりーASAHIYAより、新作の紹介です。

プラ板からピーズを作り、レジンで仕上げたキーホルダーやアクセサリー、くるみボタンにデコレーションをしたヘアゴムなど可愛い作品ができました。

ぜひ、ぎゃらりーASAHIYAへお立ち寄りください♪

鹿児島市の荒田八幡神社近くの「地球畳カフェ」にも作品を置かせてもらっています♪



### LINEスタンプ販売のお知らせ

ASAHIYA ラインスタンプ好評販売中!!!

購入方法は、LINE公式アプリのスタンプショップから購入出来ます。利用者の方の絵画活動から生まれたスタンプです。日常で使えるスタンプばかりですので、是非この機会に購入していただき、スタンプを使用してみてくださいね。



インスタ絶賛更新中!  
【 #gallery.\_asahiya 】

# ふれあいバザー



## 第56回 ふれあいバザー

日時：令和元年11月23日(土) 勤労感謝の日  
10時から14時30分(予定)

場所：旭福祉センター

今年もやります!! 目玉商品は何と言っても新鮮な野菜と花苗  
フリーマーケットでは綺麗な装飾品などのハンドメイド品も多数出展されます!!

その他にもお子さんが楽しめる催しもご用意しておりますので、ぜひ会場へお越しください♪心よりお待ちしております★★



## 新商品紹介

しっとりもちもちした楓オリジナル食パンにあんこを混ぜてアレンジしました。あんバタートーストもおすすめです。



ラウンドあんこ食パン  
350円(税込)



社会福祉法人 落穂会  
鹿児島市皆与志町2503番地  
<http://www.asahigaokagakuen.jp/>  
<http://www.asahi-center.co>

障害児入所施設  
あさひが丘学園  
TEL 099-238-4821

障害者支援施設  
あさひが丘  
TEL 099-238-4821

地域生活支援センター  
あさひが丘  
TEL 099-243-1112

障害者支援施設  
旭福祉センター  
TEL 099-244-3551

障害福祉サービス事業  
第二旭福祉センター  
TEL 099-244-3551